

1 静岡じまん 静岡ふまん ～まちの課題からみらいのカタチへ～

開催日: 令和元年(2019年) 9月18日(水)

それぞれが思う、「静岡じまん」「静岡ふまん」について意見を挙げていただき、そこから「静岡をさらに素敵なまちにするために」どうしたら良いかを考えていただきました。

《主なご意見》

- 静岡じまん: 「自然」「景色」「食べ物」「文化・イベント」
- 静岡ふまん: 「公共施設の機能不足」「バリアフリー不足」「人口流出」「新幹線で通過される」「就職先がない」
- じまん/ふまん両面: 「人柄(穏やか⇔はっきりしない)」「交通(新幹線・高速、東海道⇔地域間交通の不足)」

静岡をさらに素敵なまちにするために、「ホールとまちのつながり」「発信力を高めること」などが求められていました！



2 どんな文化会館に行ってみたいですか？ ～みらいのカタチを考えよう～

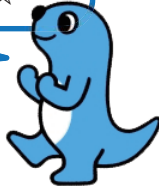
開催日: 令和元年(2019年) 10月18日(金)

「文化会館でやりたいこと」について意見を挙げていただき、そこから「どんな機能(部屋・設備等)が必要か」を考えていただきました。

《主なご意見》

- 大ホール: 客席は1,500席～2,000席(5,000人規模のスポーツ対応施設という声も)オーケストラ公演対応、最新の設備、ゆったりした客席
- 中ホール: 客席は300～800席(小ホールや小劇場、能楽堂などが欲しいという声も)可動席⇔傾斜のある固定席、託児所、ランウェイなど多様な機能
- 創造支援: 防音練習室、レンタルオフィス、調理室、図書館、展示スペース、茶室、工作室、アトリエ、飲食、遊び場、憩いの場、学生の居場所
- 広場等: 屋外ステージ、映像・音響設備、桜、遊び場、防災機能、飲食、駐車場の使い勝手向上

大ホールは2,000席規模を確保、中ホールは現状維持、創造支援は防音の練習室が欲しいなどの意見をもらったズラ☆



3 再整備のこだわりポイントについて話し合おう！ ～みらいのカタチを考えよう②～

開催日: 令和元年(2019年) 11月20日(水)

大ホール、中ホール、創造支援施設、広場の「守りたい点」と「改善すべき点」について意見を挙げていただき、守りたい点の「理由」、改善すべき点の「改善策」を考えていただきました。

《主なご意見》

- [守りたい点]
 - 大ホール: 客席規模、舞台のサイズ・機能、音響の良さ
 - 中ホール: 盆、本花道、舞台のサイズ、楽屋の広さ
 - 創造支援: 広い展示スペース
 - 広場等: 大道芸の場所、駐車場、搬入スペース

- [改善すべき点]
 - 大ホール: 楽屋の音漏れ、座席のサイズ・座り心地、楽屋不足、バリアフリー、
 - 中ホール: 楽屋の充実、客席の傾斜、座席のサイズ・座り心地、客席の多機能性
 - 創造支援: 小ホール(200～300席)、防音の練習室、学生の居場所、子どもの遊び場、休憩場所、災害対応
 - 広場等: 駿府城公園との一体性、館内との連続性、野外劇場、芝生、桜

- [その他]
 - ・休館期間は短く
 - ・文化の創造活動のための人材登用、事業拡大

舞台の広さや客席数については現状に満足しているという意見が多く、改善すべき点として、練習室の不足や広場の活用などの意見が挙がりました。また、多くの参加者から休館期間を短くしてほしいという意見を頂きました。



第4回ワークショップ「さあ、文化会館からまちへとびだそう！ ～「まちは劇場」の推進に向けて～

「まちづくり」にどんな風に参加したいですか？

文化会館と「まちづくり」について考えよう！



このようなワークショップを予定していました…！

文化会館と「まちづくり」について考えよう！

E.事業パートナーとしての参加 (NPO)

茅野市民館 (長野県茅野市)

NPO法人 サポートC

基本構想から検討に携わってきた市民を中心に設立。指定管理者から一部業務を受託している。

- 主な業務
 - ・自主事業の企画、実施
 - ・夜の公演者、専任の配布
 - ・公演時のフロント、会場設営補助

事業企画会議

市民、指定管理者、アドバイザー、サポートC事務局等で構成。広く市民から募集した事業提案を基に、自主事業計画を作成している。

- Q1 「まちは劇場」の仕掛けづくりをするために、文化会館でどんな活動をしたら良いか考えてみましょう！
- Q2 「まちづくり」の活動に市民の皆さんはどんな風に参加したいですか？

エリア	A.安心安全改修	B.創造的改修	C.地上部建替	D.全面建替
イメージ写真				
概算工事費用	約110億円	(約140億円)	約230億円	約250億円
想定耐用年数	約40年	約40年	約60年	約60年
想定休館期間	約3年	約3.5年	約6年	約7年
客席数	大ホール: 1,900席	中ホール: 1,000席	大ホール: 2,000席	中ホール: 800席
安全対策	◎: 法適合(耐震補強、天井落下防止等)	◎: 法適合	◎: 法適合	◎: 法適合
バリアフリー	△: 法適合	○: 法適合+使いやすく	◎: 法適合+さらに使いやすく	◎: 法適合
トイレ	△: 洋式化+女子トイレ増	○: 洋式化+女子トイレ増	◎: 男女とも快適なトイレ環境	◎: 最新の設備
客席大きさ	△: 幅だけ大きく	○: 幅と前後間隔を大きく	◎: 余裕のある大きさ	◎: 最新の設備
舞台設備	△: 一部仕様向上	△: 諸室の追加	◎: 最新の設備	◎: 最新の設備
創造支援空間	×: 現状維持	△: 諸室の追加	◎: 諸室の設計に自由度が高い	◎: 最新の設備
広場	×: 現状維持	◎: 広場のイベント広場化	◎: 最新の設備	◎: 最新の設備

※広場の整備費用は想定工事費用に含まれていません ※検討用のモデルプランであり、今後変更の可能性がります

■市民参画の主体性、責任の大きさ

小 ← 主体性・責任の大きさ → 大

- A.来館者・鑑賞者としての参加
- B.自分の活動としての参加
- C.サポートスタッフとしての参加
- D.事業の企画・推進役としての参加
- E.事業パートナーとしての参加 (NPO)

《来年度のワークショップ》

来年度は、今年度定めた再整備方針に基づき、文化会館の改修に向けて動き出します。まずは、基本構想、基本計画の策定に向けて、市民ワークショップの開催を予定しています。皆さん、ぜひご参加ください！

静岡市民文化会館の再整備方針を検討するに「静岡市民文化会館のミライを描く市民ワークショップ(全3回)」を開催しました。たくさんのご参加、ありがとうございました。3月27日に予定していたフィードバック編は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に伴い、残念ながら中止となりました。そこで、ワークショップでご報告する予定だった再整備方針の検討結果、ワークショップの内容についてお知らせします！

《再整備方針の検討結果》

この市民ワークショップでいただいたご意見や、プロの上演団体、市民文化団体へのヒアリング、アンケート、文化会館の耐震診断や構造躯体の劣化状況調査などさまざまな調査を基にして、文化会館の再整備方針に

静岡市民文化会館のミライを描く市民ワークショップかわら版

いいいら!!

第4号
2020年(令和2年)
3月30日
発行

発行: 静岡市観光交流文化局
文化振興課
編集: シアターワークショップ

調査の中で共通して挙げた意見として、「大ホールの座席数は2000席を確保すること」、「中ホールの現状のスペックを維持すること」、「防音の練習室の不足」、「広場の活用」等がありました。それらを維持・改善していくこと、そして再整備に伴う休館期間や耐用年数等を考慮した結果、文化会館の再整備方針は、「B.創造的改修」の方向性とする事が決定しました！

《文化会館と「まちづくり」》

文化会館は、「まちは劇場」プロジェクトを推進する拠点として指定されています。そこで、フィードバック編では、「文化会館と『まちづくり』」について考えよう！をテーマに、「まちは劇場」の仕掛けづくりをするために、文化会館でどんな活動をしたら良いか、市民の皆さんはどんな風に参加したいか、についてご意見をいただくことを予定していました。

まちづくりには、市民の皆さんのご協力が不可欠です。「市民参加」と聞くとなんだか難しいことをしなければならぬ、とつぎにくい等のイメージをお持ちの方もいらっしゃるかもしれませんが、「市民参加」と一口に言っても、参加の仕方は様々。まちに出かければ、いつでもだれでも「わくわくドキドキ」する。静岡市をそんなまちにするために、文化会館でできること、皆さんができること…

まずは、出来る範囲でどんなことをやってみたいか、どんなことをすれば良いか、一度考えてみていただけたら嬉しいですよ。

・ヒアリング
・アンケート調査

再整備方針の決定
＜B. 創造的改修＞

・耐震診断
・劣化状況調査